

日 付	令和7年8月27日
担当所属	山梨県立都留高等学校
担当者名	教頭 東 一孝
連絡先	0554-22-3125

都留高等学校 生徒主体による制服見直しについて

本校は、創立 125 年の歴史と伝統を誇る教育機関として、長年にわたり男子は詰め襟、女子はセーラー服という制服を採用してまいりました。しかし、近年の社会的な価値観の変化や多様性への理解の広がりを受けて、「今の制服は本当にすべての生徒にとってふさわしいものなのか」という問いを、生徒自身が真剣に考え始めました。数年前より、生徒を中心に制服のあり方についての議論が始まり、私服登校日を設けるなど、制服の意義や役割について生徒が主体的に考える機会を積み重ねてきました。昨年度には、ジェンダーの視点から制服を見直すため、外部の専門家を招いて講演やワークショップを教職員対象に実施。特に「女子はセーラー服」という固定観念について、率直な意見を交わし、深い議論を行いました。

こうした生徒たちの真摯な声と探究の積み重ねを受けて、学校としても制服の在り方を再考し、性差を超えた新しい制服の導入を決定いたしました。新制服は、ブレザースタイルを基本とし、すべての生徒が自分らしく安心して学校生活を送ることができるよう配慮されたデザインとなっています。本校は今後も、生徒の声を尊重しながら、時代に即した教育環境の整備に努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、取材していただける場合には、新制服の見本を提示いたします。日程調整については上記担当までお知らせください。



山梨県立都留高等学校